

# 県立特別支援学校に係る今後の整備について

平成28年9月29日  
義務教育課

## 1 課題

### (1) 特別支援学校（知的障害等）対象児童生徒の急増

- H28年度2,174人、過去10年間で+54.7%増
- H37年度には+612人、+28.2%の増となる見込み（37年度：2,786人）

### (2) 福岡市への委託の解消

- 糸島市域については、対象児童生徒を受け入れるべき県立特別支援学校が設置されていないため、小中学部は福岡市立特別支援学校に受入れを委託。
- 今後の児童生徒数の増加及び県の設置義務・役割を踏まえ、市立への受入れ委託は速やかに解消すべき。

## 2 今後の方向性

今後の教室不足等に増築で対応できず、新設が必要な学校（地域）は以下の3つ。

### (1) 古賀特別支援学校（糟屋地区・宗像地区・遠賀郡）【現施設52教室】

- 同通学区域内又は近隣地域に分離新設
  - ・通学区域の分割、又は高等部を分離

### (2) 糸島市

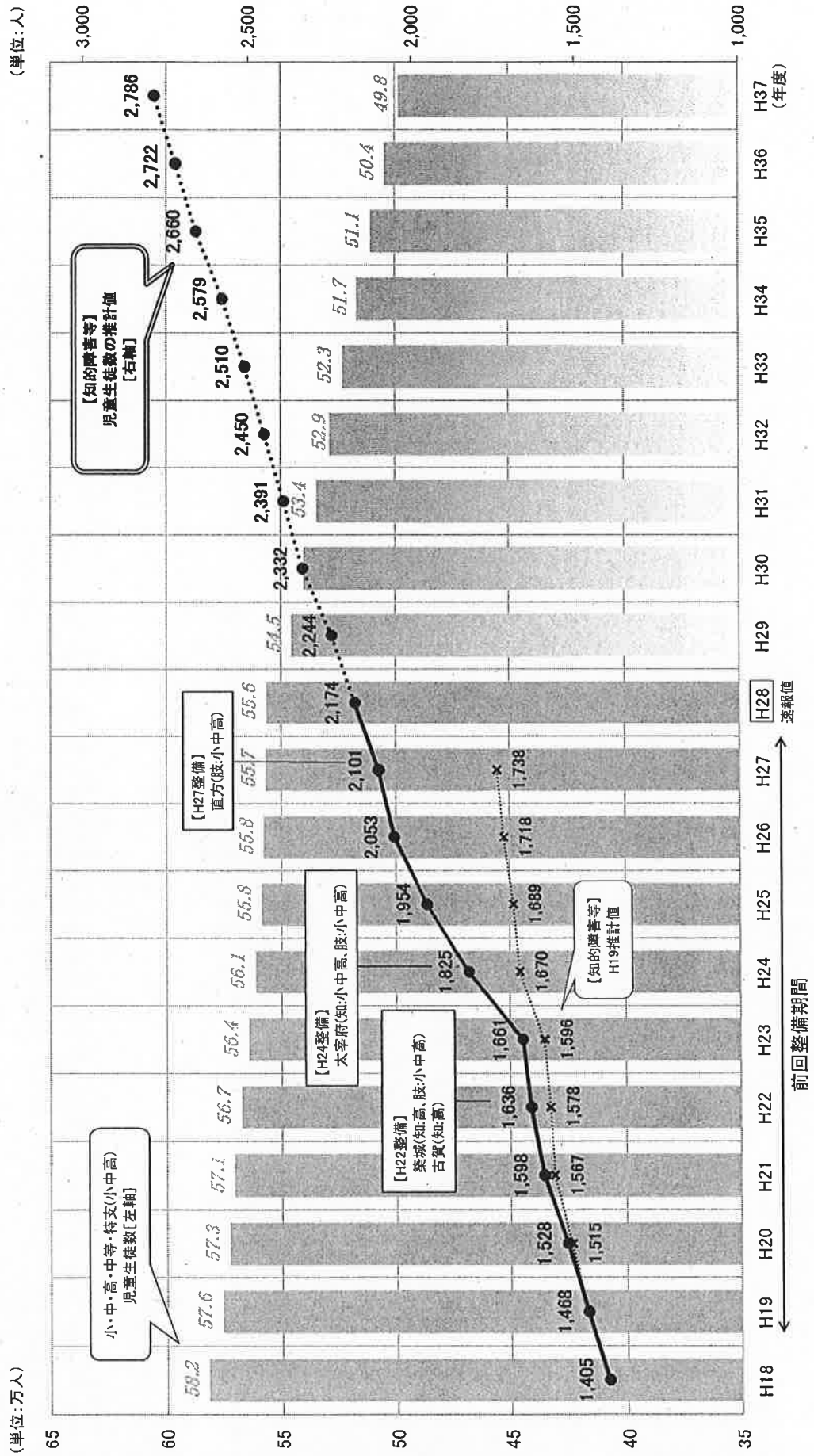
- 糸島市又は近隣地域に新設
  - ・糸島市域を通学区域とする小・中・高等部を設置

### (3) 太宰府特別支援学校（筑紫地区）【現施設49教室】

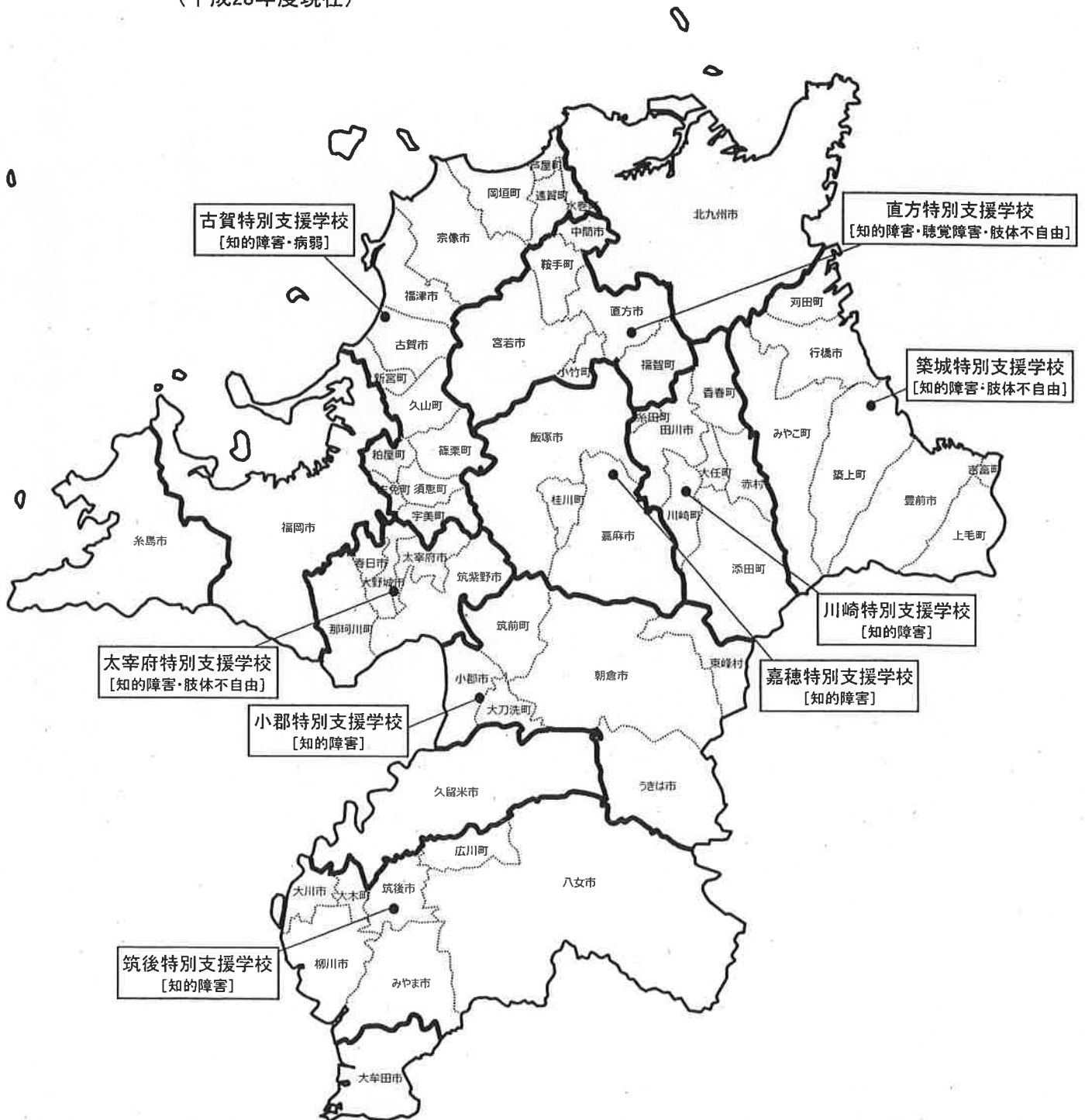
- 同通学区域内又は近隣地域に分離新設
  - ・高等部又は肢体不自由部門を分離

※ 直方特別支援学校については、今後さらに児童生徒数見込みを精査し、設置の必要性等を検討

# 県立特別支援学校(知的障害等)児童生徒数 実績及び推計値



県立特別支援学校(知的障害)地域区分  
(平成28年度現在)



※ 知的障害教育部門(小・中学部)を設置する学校のみを示す。  
 [ ]内は当該校に設置する教育部門。  
 ※ 太線は知的障害教育部門の就学校指定の際の地域区分を表す。